



## 平28 高等学校情報 (6枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

- II ある会社における情報セキュリティ対策について、次の各問いに答えなさい。なお、この会社には、会社貸与のノート型パーソナルコンピュータ (以下、貸与 PC という) や会社貸与の USB メモリ (以下、貸与 USB メモリという) を使用している。
- 1 貸与 PC による情報漏えいの対策としてハードディスク全体を暗号化することを検討した。次の(i)~(iii)の対応について、文章中の (あ) ~ (か) にあてはまる最も適切な語を、あとのア~サからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、符号は重複してもよい。
- (i) 貸与 PC をスリープ状態で持ち運んでいて、紛失や盗難に遭った場合、暗号化が意味を成さなくなることがある。そのため、スリープ状態からの復帰に (あ) を入力するようにする。
- (ii) 製品の仕様上の問題や利用者の不適切な運用により、暗号鍵が適切に管理されない場合、漏えいした暗号鍵によってデータを (い) されてしまう可能性がある。そのため、暗号鍵は、(う) 上に暗号化して保管し、暗号鍵を暗号化するためのマスタ鍵は PC 内にある TPM など (え) に保管できるようにする。マスタ鍵を使用するには、指定された (お) を入力する。
- (iii) 暗号鍵を紛失又は破損した場合などは、貸与 PC 上のデータにアクセスできなくなる。そのため、管理ツールを使うことによりリカバリー用の (か) を発行する。
- ア 認証    イ IDカード    ウ パスワード    エ 番号    オ ハードディスク    カ サーバ  
キ ネットワーク    ク セキュリティチップ    ケ USB メモリ    コ 復号    サ 暗号
- 2 電子メールやファイル転送などによる情報漏えいの対策について、次の各問いに答えなさい。
- (1) 社員 X が、社員 Y にインターネットを使い、公開鍵暗号方式で暗号化して電子メールを送る場合、電子メールの内容を送信するために使用する鍵として適切なものを、次のア~エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 社員 X の公開鍵  
イ 社員 Y の公開鍵  
ウ 社員 X の秘密鍵  
エ 社員 Y の秘密鍵
- (2) 2つの通信主体  $T_1$ 、 $T_2$  間、次の(a)~(c)の手順で情報を交換した。このときの認証において正しいものを、あとのア~エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- (手順) (a)  $T_2$  は任意の情報を含む文字列 (チャレンジコード) を  $T_1$  へ送信する。  
(b)  $T_1$  は、あらかじめ  $T_1$ 、 $T_2$  間で定めたルールに基づき、受け取った文字列から新たな文字列 (レスポンスコード) を生成し  $T_2$  へ返送する。  
(c)  $T_2$  は返送されてきたレスポンスコードが正しいことを確認する。
- ア  $T_1$  が  $T_2$  を認証し、 $T_2$  が  $T_1$  を認証する  
イ  $T_1$  が  $T_2$  を認証する  
ウ  $T_1$  がチャレンジコードを認証する  
エ  $T_2$  が  $T_1$  を認証する
- 3 盗難、紛失、マルウェアの感染、不正開示等の観点から機密保持の有効な対策として最も適切な組み合わせを、あとのア~エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- a ログイン時に指紋認証を使用する    b 貸与 PC の保管庫の暗証番号は変更せずに使用する  
c 重要なデータは貸与 PC にもコピーして保存しておく    d セキュリティパッチ適用を厳守する  
e 開示可能範囲を周知徹底する    f 重要なデータは貸与 USB メモリに保存し常に身につけておく
- ア a-c-e  
イ a-d-e  
ウ b-c-f  
エ b-d-e
- 4 マルウェアが PC 内に進入してインターネット上の命令サーバと通信を行う場合、宛先ポートとして TCP ポート番号 80 が多く使用される理由として適切なものを、次のア~エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア サーバ内のゾーン転送に使用されるので、通信がファイアウォールで許可されている可能性が高い  
イ Web サイトの HTTPS 通信での閲覧に使用されることから、侵入検知システムで検知される可能性が低い  
ウ Web サイトの閲覧に使用されることから、通信がファイアウォールで許可されている可能性が高い  
エ ドメイン名の名前解決に使用されるので、侵入検知システムで検知される可能性が低い
- 5 機密保持の対策としてシンクライアントシステムを利用することも検討した。シンクライアントシステムの特徴として適切なものを、次のア~エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア サーバ内において作業を行うので、端末にはデータが残らない  
イ データが複数のディスクに分散配置されるので、ディスクが破損した場合もデータが残る  
ウ ネットワーク上で複数のサービスを利用する際に、最初に1度だけ認証を受ければすべてのサービスを利用できる  
エ パスワードに加えて指紋や虹彩による認証を行うことができる

# 平28 高等学校情報 (6枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次のプログラムの説明、擬似言語のプログラム及び記述形式の説明を読んで、あとの問いに答えなさい。

## [プログラムの説明]

期末考査の結果が格納されているファイルを読み込み、生徒の獲得した得点をヒストグラムに編集して出力するプログラムである。

A 試験結果ファイルには、ある学校で実施された期末考査の結果(以下、試験結果という)が格納されている。試験結果ファイルのレコード様式を図1に示す。

図1 試験結果ファイルのレコード様式

学籍番号	生徒氏名	学年	得点	その他
------	------	----	----	-----

- (1) 生徒1人分の試験結果が1レコードとして格納されている。
- (2) 試験結果ファイルは、学籍番号の昇順に整列済みである。
- (3) 得点には、生徒の獲得した得点が0~100の整数値で格納されている。

B 出力するヒストグラムは、得点の範囲を10区間に分け、各区間に含まれる人数を集計したものである。ヒストグラムの出力結果を図2に示す。

図2 ヒストグラムの出力結果

```
000 - 010 : *****
011 - 020 : *****
021 - 030 : *****
031 - 040 : *****
041 - 050 : *****
051 - 060 : *****
061 - 070 : *****
071 - 080 : *****
081 - 090 : *****
091 - 100 : *****
```

- (1) 得点(0~100点)の範囲を、0~10点、11~20点、…、91~100点の10区間に分け、各区間に含まれる人数を集計する。
- (2) 集計した人数により、次の式で求めたアスタリスク(\*)の個数分を出力する。ここで、除算の結果は小数点以下を切り捨てる。

$$\text{アスタリスクの個数} = \text{人数} \div 10$$

- (3) アスタリスクの個数が、50を超える区間は存在しないものとする。

C プログラム中の配列Ninzuと、配列Kukanの要素番号は1から始まるものとする。

D プログラム中の除算の結果は、小数点以下を切り捨てた整数値が格納される。

E 試験結果ファイル(sfle)には、1件以上のレコードが存在するものとする。

F プログラム(Histogram)は試験結果ファイルから1件分のレコードを読み込んで得点などを返す副プログラム(RecordRead)と指定された文字列を出力する副プログラム(TextPrint)を使用する。各副プログラムの引数の仕様を表1、表2に示す。

表1 副プログラムRecordReadの引数の仕様

変数名	型	入力/出力	意味
Filename	文字列型	入力	試験結果ファイルのファイル名"sfle"の文字列
Tokuten	整数型	出力	試験結果ファイルの1レコード中の得点の値を格納する変数
Status	整数型	出力	試験結果ファイルから1レコードを読み込んだ時の結果を返す。 ・レコードが入力されたときは、1を返す。 ・レコードがないときは、0を返す。

表2 副プログラムTextPrintの引数の仕様

変数名	型	入力/出力	意味
Text	文字列型	入力	出力対象が格納される変数
Count	整数型	入力	出力対象の文字数
Kaigyo	整数型	入力	出力後の改行の有無を指定する。 ・改行を行うときは、1を設定する。 ・改行を行わないときは、0を設定する。

## [プログラム]

○プログラム名: Histogram

○文字列型: Kukan[ ]=( "000 - 010 :", "011 - 020 :", "021 - 030 :", "031 - 040 :", "041 - 050 :",  
"051 - 060 :", "061 - 070 :", "071 - 080 :", "081 - 090 :", "091 - 100 :")

○整数型: Ninzu[ ]=(0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0)

○整数型: Tokuten, Status, K, L

○副プログラム名: RecordRead (文字列型: Filename, 整数型: Tokuten, 整数型: Status)

/\* Filenameで指定したファイルから1レコードを順次読み込む。Tokutenで指定した変数には読み込んだレコードの得点が格納される。Statusで指定した変数にはレコードが入力されたときは1、レコードがないときは0が格納される。\*/

○副プログラム名: TextPrint (文字列型: Text, 整数型: Count, 整数型: Kaigyo)

/\* Textの内容をCountで指定した文字分を出力する。また、出力後に改行を行うときはKaigyoに1を、出力後に改行を行わないときはKaigyoに0を指定する。\*/



